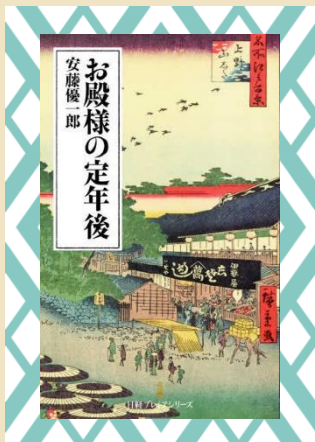


本の紹介



30. お殿様の定年後 / 安藤優一郎著

江戸時代は泰平の世。高齢化が急速に進む中、大名達は著述活動、文化振興、芝居見物などで隠居後の長い人生を謳歌した。権力に未練を残しつつもそれぞれの事情で藩主の座を降りた後、時に藩の財政を逼迫させながらもアクティブに活動した彼らの姿を通じ、知られざる歴史の一面を描き出す。



81. 古典つまみ読み：古文の中の自由人たち / 武田博幸著

ときに尼の強く信じる心が地蔵菩薩を現前させ、平家侍は一門とともにあえて滅びの運命を選びとり、色好みの若き平安貴族は気随気ままな日常を繰り広げる。結びには兼好法師、西行、良寛の人生論を取り上げ、人はいかにして心豊かに自由に生きられるのか、確かな鑑賞力でもって選ばれた古文から考える。人間はなぜ、かくも不器用で愛おしいのか。大人ならではの古典の愉しみ方を徹底指南。



83. 漢字なりたち図鑑：形から起源・由来を読み解く / 円満字二郎著

日常生活でよく使われる漢字一ニニ三字の成り立ちをイラストでわかりやすく説明。小学校で学習する漢字はすべて収録し、予習復習に便利です。基本的な音読み、訓読みも記載しています。総画索引で知りたい漢字のページがすぐに見つかります。



85. 平安貴族サバイバル / 木村朗子著

優雅な毎日を送っていたような平安時代の貴族たち、実は様々な戦略を駆使してサバイバルを図っていた。史実と文学作品をもとに解説。和歌を詠んだり楽器を奏でたり、恋愛に一喜一憂したりと、優雅な毎日を送っているように見える平安時代の貴族たち。しかし実際は、セルフプロデュースやコミュニケーションのスキルがないと生き残れない過酷な世界で、様々な戦略を駆使してサバイバルを図っていた。